

防災関係機関との連携強化について

能登半島地震で発生した大規模火災等を踏まえ、災害への対応を迅速かつ適切に行うためには、防災関係機関との連携をより強化していくことが必要であることから、今年度に杉並区、消防署、警察署、自衛隊の4者合同の連絡会を設けるとともに図上訓練を実施しましたので、以下のとおり報告いたします。

1 連絡会参加機関

杉並消防署、荻窪消防署
杉並警察署、荻窪警察署、高井戸警察署
陸上自衛隊第1普通科連隊第4中隊、高円寺募集案内所
杉並区危機管理室防災課、危機管理対策課

2 実施日等

実施日	場所	内容
7月18日(木)	杉並区役所	各機関の災害時における初動配備態勢、防災に関する取組等について
9月20日(金)	練馬駐屯地	
12月12日(木)	杉並消防署	図上訓練のシナリオを基に意見交換
2月17日(月)	杉並区役所	図上訓練

3 図上訓練について

(1) 概要

杉並区で震度6強の地震が発生したことを想定し、その対応を図るため、災害対策本部を立ち上げ、関係機関との情報共有と対応策を検討・協議する訓練を行った。

(2) 参加人数

48名(消防署12名、警察署9名、自衛隊5名、杉並区22名)

(3) 訓練で実施した主な内容

- ① 災害対策本部の設置及び被害状況等の情報収集
- ② 震災救援所の開設状況、帰宅困難者の避難状況、医療救護所の開設状況などの情報共有
- ③ 把握した火災状況、救助要請、建物倒壊状況の共有(地図に落とし込み)
- ④ 大規模火災の延焼阻止対応及び優先する救助活動を決定するため、4者での検討・協議等

4 今後の連絡会での取り組み

- (1) 図上訓練での課題を整理し、より実践的なものとして次回の訓練に反映する。
- (2) 継続的に連絡会を開催し、災害時対応の課題の共有と対応策を検討する。